

J R労働者が働きやすい環境づくりと社会に寄与する運動を作ろう！

東日本ユニオン 仙台地方本部

J R東日本労働組合仙台地方本部 発行責任者 阿部 勉 編集責任者 教宣部
仙台市宮城野区東六番丁31-2 NTT電話 022-221-7375 NTT FAX 022-221-7509
J R電話 031-3906 J R FAX 031-3909 メールアドレス unionsemdai@yahoo.co.jp

安心して働ける職場を

エルダー問題学習会に36名結集

仙台地方本部は、1月18日、山形テルサで現職・エルダー組合員36名の参加のもと「エルダー問題学習会」を開催した。平成30年4月から実施される本体雇用や労働条件の一部変更に伴う環境の変化が予想され、組合員の関心も高く、熱のこもった議論が展開された。



問題提起をする角谷業務部長

武藤地本業務部長の資料に基づく問題提起に続き、角谷本部業務部長は、エルダー制度の問題解決に臨む姿勢として、取り巻く情勢の分析と交渉能力の向上、そして労使関係の三つが重要な要素になると見解を示し、中央委員会で「エルダー賃金表」の書き直し、出



阿部さん(上)と渡辺さん

向先の就業規則の書き換えを具体的な闘いの取組みとして提起することを明らかにした。

参加者からは、パート従業員の低賃金がエルダー社員の労働環境に大きな影響を及ぼしている実態や制度変更に伴い予想される精勤手当の増額による賃金問題、60歳以降の身体を含めた環境の変化を見据えた制度改正や就業規則の改善を求める

業務課題の解決を目指す

地本運転士協議会が学習交流会を開催



仙台地本業種別協議会の結成後、初となる運転士協議会が1月29日、地本事務所で行われた。開会にあたり武藤協議会議長は、「施策に対する提案・提言と労働条件の改善に向け地本業務部との連携をお願いする」とあいさつをした。

高橋運転士協議会前議長は「協議会の構成員である佐藤本部委員長は新潟・長野における組織拡大、春闘への取組み、組織体制の将来像について触れ総力の結集を訴えた。参加者からは、ダイヤ改正を控えた各職場の業務課題が述べられ、問題の解決に向け団体交渉の要求作りの取組みと交流会の定期的な開催が全体で確認された。



堺さん(上)と寒河江さん

声が出された。「ユニオンの今後の組織推移を見たとき、エルダー組合員の関わりは必須であり、運動への積極的な参加と支援体制の確立に向けた取り組みが重要」とした佐藤本部委員長の総括を全体で共有した。

変わらぬ指導を「お願いします」

鈴木潤一さんの定年退職を祝う



退職者、福島連合分会の仲間も参加した

宮城連合分会は2月1日、昨年12月に退職された鈴木潤一さんの送別会を開催した。渡辺分会長、阿部地本委員長の労いの挨拶に、鈴木さんは、一時は職場に組合員が一人という環境の中、旗を守り抜いた試練の鉄道員人生を振り返り「多くの仲間を支えられ、今日を迎えることができた。これからも様々な形で皆様との関係を続けたい」と感謝の言葉で挨拶を締めつけた。

職場からの闘いを実践しよう

2018年新春旗開きを開催



日の旗開きを共に祝い、職場からの運動を創り上げ、組織拡大を目指そう」と訴えた。

来賓の交運共済仙台事業所伊賀所長と仙台退職者の会佐藤会長の挨拶に続き、山形県交運労協から寄せられた、心強い連帯のメッセージが紹介された。

1月18日、仙台地方本部は新たな年の幕明けに、更なる飛躍の年となるよう、ご来賓、組合員45名参加のもとHイーストワンで2018年新春旗開きを開催した。地本阿部委員長は前段に行われたエルダー学習会について触れ、「多くの現場の声を聞くことができた。交渉に反映し問題の解決を目指していく。本

「2018春闘はすでにスタートしている。ペースアップ獲得に向け、3月3日に開催される春闘総決起集会を全組合員の手で成功させよう」と組合員の決起を求めた。山形連合分会草薨委員長は乾杯で始まった宴は盛り上がり、3分会代表者の決意表明と武藤副委員長の団結ガンバロウで意思統一が図られた。

豪雪何するものぞ 安全は我々が守る



盛り上がる会場はOBの舟生さんが親子で営む

山形連合分会新庄地区班は1月26日、やきとり鳥舟において新年会を開催した。

連日の除雪対応で心身とも疲労困ぱい

のなか、OB6名を含む24名が参加した。冒頭、江口前分会長と伊藤財政担当から解散時の事務処理について説明があり、全員から承認された。

来賓として参加した地本阿部委員長は山形連合分会設立の経緯にふれ、「新分会は職種や地域の枠組みを乗り越え結成された。役員との連携、組合員間の親睦を図り、迅速な指示情報の発信と活発な交流活動を推し進め組織力の強化に取り組みでいただきたい」とあいさつした。雪害のため欠席となった分会草薨委員長からはメッセージが届けられた。

エルダー頑張る

伊藤俊幸さんは、自宅から徒歩15分にあるTSS南福島駅に勤務している。駅は「吾妻おろし」という季節風の影響を受けやすく、強風による列車遅延発生時の福島駅からの放送が遅れるため、情報収集やお客様の対応に苦労するという。



また、進まないバリアフリーのため、車椅子のお客様には福島駅からの応援を待たなければならず、駅に苦勞するという。また、進まないバリアフリーのため、車椅子のお客様には福島駅からの応援を待たなければならず、駅に苦勞するという。

OB中西茂さんの「退職後12年間で組合にもさまざまな変遷があったが、この絆は不変であり、継続し応援していく」という心強い言葉で宴は始まり、寒鰯なべや次々と焼かれる焼き鳥に全員が舌鼓を打った。

行事日程

- ▽2月27日 共済担当者会議・第4回地方委員会(コラッセふくしま)
- ▽3月3日 春闘総決起集会(田町交通会館)

